

第83回新生ふくしま復興推進本部会議 議事録

- 日時：平成30年8月6日（月）9：15～9：20
- 場所：特別室（本庁舎2階）

【総務部長】

ただ今から、新生ふくしま復興推進本部会議を開催します。
議題、「平成31年度国の予算に向けた取組」について、企画調整部長。

【企画調整部長】

資料1を御覧ください。平成31年度国の予算に向けた取組については、6月7日の「国への提案・要望」を始め、各部局において国と折衝を重ねてまいりました。

今後は8月の概算要求に向け、引き続き国に様々な要望を訴えていく必要があります。

資料1は、これまでの調整状況や市町村からの声などを踏まえつつ、今後、特に国に対して、予算の確保に向け、訴えなければならない項目をまとめたものです。

左側の現状・課題を御覧ください。今年4月に福島イノベーション・コースト構想を盛り込んだ福島復興再生特措法に基づく重点推進計画が内閣総理大臣から認定されたところです。

先月末に福島ロボットテストフィールドの一部が開所する等、構想の具体化を更に進めてまいります。

特定復興再生拠点区域の復興再生計画については、6町村で認定され、計画を着実に実行していくことが重要です。

風評・風化対策についても、記載のような実績を積み重ねているところではありますが、本県産農林水産物の安全・安心の取組や観光復興対策など、国や関係機関と一体となって、更に取り組んでいく必要があります。

右側の「特に訴えるべき視点」ですが、このような本県の現状・課題を踏まえ、1. 避難地域12市町村の生活環境整備、2. 風評払拭・風化防止対策の強化、3. 福島イノベーション・コースト構想の推進、4. 新産業の創出及び産業再生、5. 復興を支えるインフラ等の環境整備、この5点に沿った形で、国と最後まで調整を進め、予算の確保に努めてまいります。

以上です。

【総務部長】

今の説明について、何かございますか。
知事からお願いします。

【知事】

今年度は5年間の復興・創生期間の折り返しであります。

現在我々にとって大切なことが2つあります。

1つは平成31年度の国の予算、これをしっかりと確保していくこと。
そしてもう1点は復興・創生期間後の体制、財源の確保であります。

この2点が連動することで、福島の復興・創生、長い戦いにしっかりと取り組むことができます。

全庁を挙げて取り組んでいきたいと思いますが、その際大切なことは、新年度に入った際に申し上げた次の3つの視点であります。「危機意識」「挑戦」「協働」この3つのキーワードを各部局長、また、職員が頭に置いて、国、関係機関との協議・調整にしっかりと当たってください。

以上です。

【総務部長】

次に報告事項。「ふくしま復興のあゆみ」について、企画調整部長。

【企画調整部長】

ふくしま復興のあゆみ第23版を御覧ください。

復興のあゆみについては、概ね四半期ごとに更新しているところで、前回は3月28日に発行いたしました。

今回の23版については、前回からの新たな動き等を踏まえ、トピックの追加やデータの更新を行いました。

主なところを御説明いたします。

3ページ、避難指示区域等の状況について、「特定復興再生拠点区域復興再生計画の認定」に飯舘村と葛尾村の計画認定を追加いたしました。

次に9ページ、先般開催されました全国植樹祭、全国林業後継者大会の記事を追加いたしました。

次に11ページ、東京オリンピック聖火リレーは福島県からスタート、本県開催のソフトボールで開幕といった新しいトピックを加えております。

また、全国新酒鑑評会で史上初となる、金賞受賞数6年連続日本一達成というトピックも加えております。

次に16ページ、福島イノベーション・コースト構想について、福島ロボットテストフィールドが一部開所したという記事を追加しております。

最後に18ページ、5月に知事がニューヨークの国連本部を訪問されたこと、同じく5月に太平洋・島サミットが開催されたこと、Jヴィレッジが再始動したことをトピックとして加えております。

以上です。

【総務部長】

続いて報告事項の2つ目、「風評・風化対策の効果的な実施に向けて」について、風評・風化対策監。

【風評・風化対策監】

資料3-1を御覧ください。上段「現状」のとおり、外国人宿泊者数や、農産物輸出量が震災前の水準まで回復し、県産日本酒の6年連続日本一など成果がある一方で、風評の払拭と風化の問題は依然厳しい状況が続いております。

このような中、トップセールスや新CMによる農産物PR、全国規模の企業とのコラボレーションなど、今年度の取組も本格化してきております。

このため、「風評払拭・リスクコミュニケーション強化戦略」を策定した国との連携を強化するとともに、企業・団体・自治体など様々な皆様との「共働」にポイントを置いて、心に響く、届く発信を念頭に各取組を進めてまいります。

資料3-2については、関連事業を年間の動きとしてまとめたものです。

県産品、観光、教育旅行、国内外への正確な情報発信について、全庁一体となって取組を進めてまいります。

以上です。

【総務部長】

今の説明について、何かございますか。

【知事】

復興のあゆみと、今の風評・風化、こういった資料を作るときにIWCでチャンピオン・サケを取った、これも簡単には取れない、非常に価値のある内容なので、記載するようにしてください。

【総務部長】

以上で、本部会議を閉じます。